

テーマ名	「察するコンピュータ」を目指して
担当教員	平石 広典 教授
学部：分野	工学部：システム情報分野(AIシステムコース)
内容	<p>「察するコンピュータ」とは、明確な入力や操作を必要とせず、言わなくても分かってくれる、時にはそっとしておいてくれるというようなコンピュータと定義できます。現代のコンピュータでは、数多くの情報を利用者 に提供してくれますが、利用者の状況や意図に関係なく提供されれば、時にはそれらが邪魔であったり、また、複雑な操作が必要であったりする場合があります。本授業では、どのように「察するコンピュータ」を実現していくか、また、研究の過程で開発したいくつかシステムについて紹介します。</p> <p>※大学見学では  これまでのプロジェクトや卒業研究等で研究・開発してきた実際のシステムを間近で見学することが可能です。また、ジェスチャー認識や、センサー装置など、いくつかの物におきましては、実際に触って体験することも可能です。</p> <p>※リモート授業（遠隔）も可能です。</p>
写真・画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="422 1220 845 1556"> <p>運転におけるドライバーの認知的な負荷のモデル</p> </div> <div data-bbox="869 1220 1356 1556"> <p>簡易脳波計によるダーツ時の集中度の解析実験の様子</p> </div> </div>
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒